

葛原 しげる氏

十二月初旬、葛原しげる氏はお茶の水女子大学をお訪ねになり、新年号に「姫二姫三太郎のおめでたい話を書いたから」ということと、今回「梁田貞名曲集」が玉川学園から出版されて、自分の未発表のものも多く載っているからと言っておいでになつた。それから數日して突然に氏の訃音に接した。この原稿はその後届けられたものである。葛原しげる氏は本誌とは関係が深く、昭和初年よりしばしば執筆され、童謡に隨筆に、流れるような文章で読者に楽しみを与えたのである。近年になって氏と連絡がとれて、再び執筆いただき、もつと書いていただけるものと思っていたのに残念であった。童謡作家として生涯を全うされた方である。

本誌に掲載された氏の文章には次のようなものがある。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| 詩 マリガツキタイ | 三十卷十一号 昭和五年 |
| 幼児が喜び歌ふ歌 (1)～(4) | 三十卷十一号～三十一卷三号 |
| 幼児の為の唱歌を作りて (1)～(4) | 三十一卷六号～十号 昭和六年 |
| コドモカルタから幼児唱歌 (1)～(5) | 三十二卷四号 昭和七年 |
| 幼児教育と童謡 童謡ものがたり（幼年ニコピン） | 三十四卷二号～六号 昭和三年 |
| 保育隨想 「青すずめ 赤すずめ」 | 五十七卷八号 昭和三年 |
| | 六十卷四号 昭和三年 |

その他

